

学位被授与者氏名	藤川 繭 (ふじかわ まゆ)
論文題目	新語発展からみる価値観の変化 一人称を表す名詞を中心に―
論文審査結果の要旨	<p>論者は主に中国語で書かれた新語に関する文献を精読する際、社会言語学者が30数年前に提起した言語発展に関する予言―「将来、礼儀やマナーが一般的なものになった時に、礼儀より効率というより経済性重視の言語傾向が現れるだろう」―に疑問を抱きはじめ、その後、多くの先行研究を参考に、社会言語学の技術と知識を生かしながら、「言語モデル分析法」を取り入れた事前アンケート調査及び本番アンケート調査を行った。アンケート調査で得たデータを日本語に訳し、統計・分析することによって、若者の価値観の変化を解明することができた。</p> <p>中国の若者の価値観の特徴を明らかにした本研究は、30年前の「予言」が間違っただけでなく、実際の日中間のコミュニケーションにも有意義であると思われる。</p> <p>したがって、本研究は修士論文の基準に到達し、価値の有するものと認める。</p> <p>平成30年8月21日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-329教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>